

とよやま

No. 172
議会だより
3月定例会



次のステージへ力いっぱい羽ばたけ

(関連記事P20)

3月定例会のあらまし P2・3

議案PICK UP P4~7

9人が一般質問 P8~17

委員会報告 P18・19

輝く人を紹介 町のキラッと P20

議会のインターネット中継が視聴できます

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



附帯決議を可決

令和7年度
一般会計
予算

予算額 89億9300万円

3月
定例会の
あらまし

令和7年第1回定例会が3月3日から18日まで開かれました。工事請負変更契約の締結1件、条例の一部改正16件、条例の制定2件、令和6年度一般会計・特別会計補正予算3件、令和7年度一般会計・特別会計予算6件、人事案件1件、議員発議3件、合わせて32件の議案が上程され、可決31件、否決1件となりました。また、請願は不採択と決定しました。

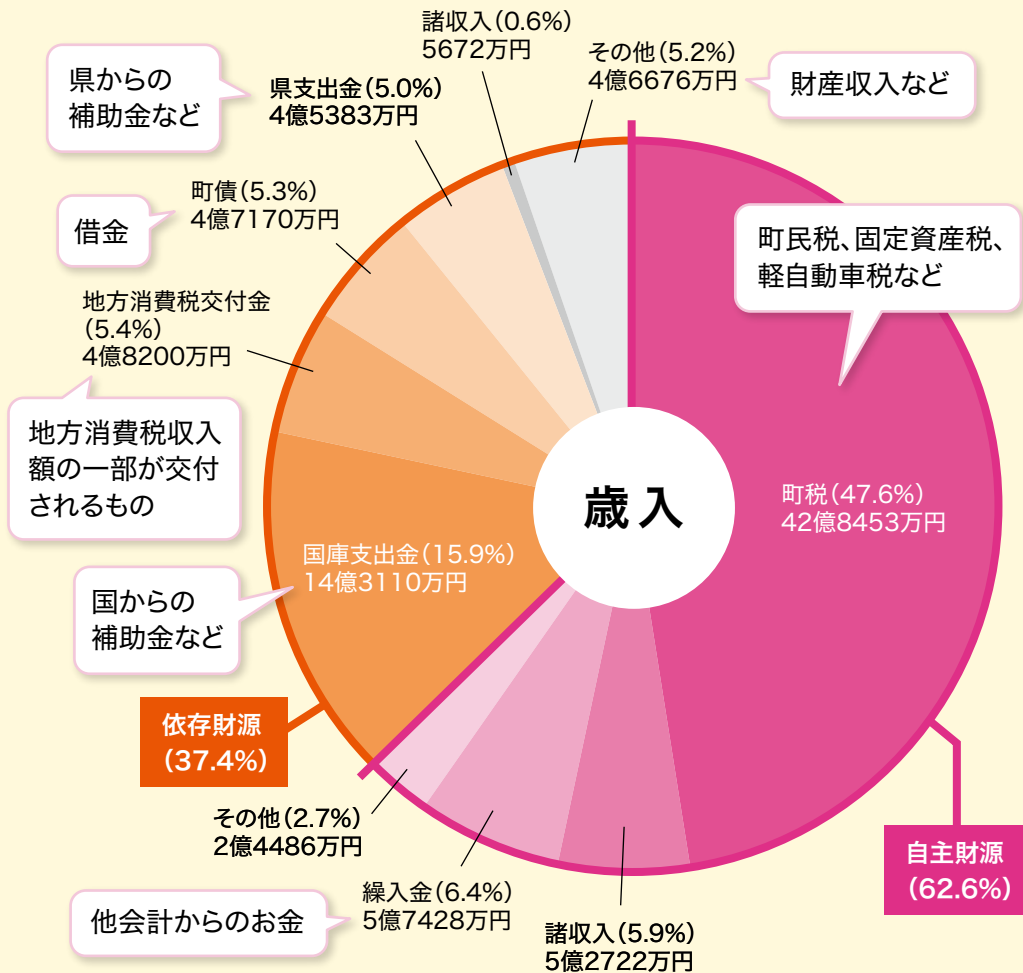
3月定例会

議案PICKUP

一般質問

委員会報告

歳入



歳出の概要

義務的経費	人件費	17億5882万円 (対前年度比+6.9%)
	扶助費	12億2617万円 (対前年度比+22.2%)
	公債費	3億678万円 (対前年度比+12.6%)
任意的経費	消費的経費	
	物件費	28億7928万円 (対前年度比+5.6%)
	維持補修費	1405万円 (対前年度比△13.0%)
	補助費等	10億5592万円 (対前年度比△4.0%)
	投資的経費	
	普通建設事業費	9億4587万円 (対前年度比△34.8%)
	単独	4億4454万円 (対前年度比+6.2%)
	補助	5億134万円 (対前年度比△51.4%)

歳入の概要

町税	42億8453万円 (対前年度比+0.7%)
個人町民税	10億5517万円 (対前年度比+8.2%)
法人町民税	3億1632万円 (対前年度比+20.8%)
固定資産税	24億6077万円 (対前年度比△4.6%)
地方譲与税	7896万円 (対前年度比△4.8%)
国庫支出金	14億3110万円 (対前年度比+0.4%)
県支出金	4億5383万円 (対前年度比+17.1%)
諸収入	5億8394万円 (対前年度比+46.2%)
町債	4億7170万円 (対前年度比△42.0%)

◎万円で端数調整をおこなっています

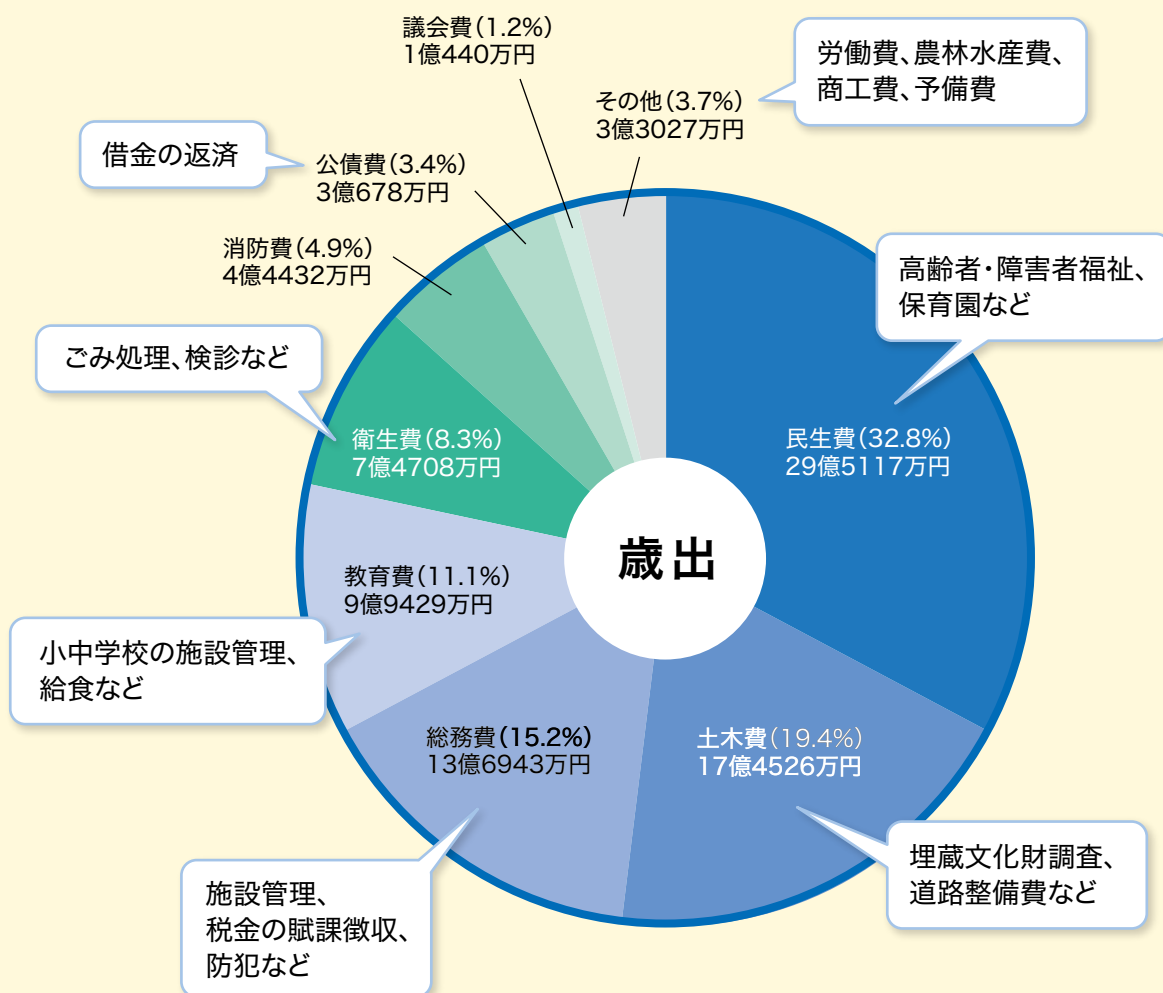
新年度予算に対して

3月定例会

議案 PICK UP

一般質問

委員会報告



令和7年度当初予算

一般会計	89億9300万円(対前年度比△0.1%)
特別会計	28億2196万円(対前年度比+0.9%)
国民健康保険	12億4142万円(対前年度比△2.2%)
後期高齢者医療	3億1952万円(対前年度比+11.7%)
介護保険	12億5691万円(対前年度比+1.5%)
介護サービス事業	411万円(対前年度比+12.2%)
企業会計 下水道事業会計	9億4307万円(対前年度比+1.9%)
収益的支出	3億8379万円(対前年度比+12.2%)
資本的支出	5億5928万円(対前年度比△4.2%)
総額	127億5803万円(対前年度比+0.2%)

◎万円で端数調整をおこなっています

議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、
その中身や審議を詳しく説明します。

議案一覧

令和7年第1回臨時会(1月) 議案1～9号 人事院勧告に伴う条例の一部改正と補正予算 全員賛成可決

令和7年第1回定例会(3月)

番 号	議 案	審議結果
議案第10号	工事請負変更契約の締結（下水道工事 その2）	全員賛成可決
議案第11号	教育長の任命	賛成3反対6 同意しない
議案第12号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成可決
議案第13号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成可決
議案第14号	小規模企業・中小企業振興基本条例の制定	全員賛成可決
議案第15号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第16号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第17号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第18号	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第19号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第20号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第21号	職員の給与に関する条例等の一部改正	全員賛成可決
議案第22号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第23号	国民健康保険税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第24号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第25号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第26号	地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第27号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	全員賛成可決
議案第28号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第29号	令和6年度一般会計補正予算（第7号）	全員賛成可決
議案第30号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
議案第31号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
議案第32号	令和7年度一般会計予算	全員賛成可決
議案第33号	令和7年度国民健康保険特別会計予算	全員賛成可決
議案第34号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成可決
議案第35号	令和7年度介護保険特別会計予算	全員賛成可決
議案第36号	令和7年度介護サービス事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第37号	令和7年度下水道事業会計予算	全員賛成可決
議案第38号	町長及び副町長の給料の特例に関する条例の制定	賛成7反対2可決
請願第1号	「豊山スカイプール」の存続を求める請願書	賛成3反対6不採択
発議第1号	議会個人情報の保護に関する条例の一部改正	全員賛成可決
発議第2号	刑事訴訟法における再審に関する規定の改正を求める意見書の提出	全員賛成採択
発議第3号	議案第32号 令和7年度一般会計予算に対する附帯決議	賛成7反対2可決

議長は議決には加わりません 太字は次項に掲載

3月定例会

議案 PICK UP

一般質問

委員会報告

施政方針



豊山町公式ホームページ 施政方針

❶ 令和7年度の予算編成にあたり、重点を置かれたところは何か。

❶ 町民の皆さまの暮らしを守ることを第一に考えつつ、子どもたちが柔軟かつ新しいアイデアを生み出す機会になるような体験型の事業をより多く実施し、未来を担う人材を育てたいという思いのもと取り組んだ。



❷ 「協働によるまちづくり」を推進すると言われたが、どのような方法で町民の意見を反映させるのか。

❶ タウンミーティングやアンケート調査など、町民のお声をいただく中で、良い提案があればできることから迅速に対応してまいりたい。



❸ 生活をしっかりと支えていく対策が必要と強調されたが、具体的にはどのような支援を予定しているのか。

❶ 令和7年度では、第2子保育料を所得制限のない無償化を行うほか、昨年度に引き続き、3歳から5歳までの保育園の副食費の無償化を行う。また、町民の消費を下支えするため、引き続き、プレミアム付商品券の販売を行う。



❹ 令和7年度の予算について、町長が「自分らしい」というところは何か。

❶ 未来を担う人材を育てたいという思いのもと、体験型の事業をより多く予算化した。
当然、スカイプールの再開に向けた関連予算の計上を検討してきたが、まずは、タウンミーティングというプロセスを経る必要があると判断し、当初予算では予算計上を行わなかった。

小規模企業・中小企業振興基本条例の制定

小規模企業や中小企業の振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の持続的な発展や町民生活の向上に寄与することを目的とする

Q 条例制定により、何を期待しているか。

A 行政、金融機関、町民などが共通認識を持つことで、一体となった地域経済の成長や発展に取り組むことができると期待している。

Q 条例制定による、今後の展望は。

A 令和7年度以降、下記の3点を予定している。

- ① 町の産業振興に関する検証などを行う会議体の設置
- ② 小規模企業実態調査
- ③ 基本計画の策定、各種補助金を始めとした町の産業施策の検討



令和7年度一般会計予算

北海道せたな町への中学生派遣（3泊4日）

154万円

Q 具体的にどのような成果を期待しているか。また、どのように評価し、今後の事業に反映させるのか。

A 交流を通じて町の将来を担う人材にまちの歴史や未来を考える機会を創出し、豊かな人間性を育むことを期待する。
 今後は、派遣事業を踏まえ、次年度以降どのように発展させることができるかを、せたな町と協議し進めたいと考えている。



敬老祝商品券の配布

323万円

長寿祝金の支給対象者を見直し、その財源を活用する

Q 長寿祝金の対象年齢を88歳と100歳に縮小した経緯は。

A 本町の高齢者人口増加や平均寿命が上昇している状況を踏まえ、長寿祝金の対象者を見直し、88歳（1万円）と100歳（7万円）とした。
 敬老会の記念品を廃止し、75歳以上の方に1000円分のクーポンを配布する。

主な理由は下記の通りである

- ①施設再開に向けた具体的な対策が示されていない
- ②プールの存続に予算を配分することで、他の事業に支障が出る可能性がある
- ③紹介議員からの提案内容について、具体的な根拠が示されていない

この請願は、豊山スカイプール利用者が、町の決定に再考を促す意向を明確に示したものであるとして、議会として重く受け止める。今後、町民の意向を尊重しつつ、町長が財政計画を示したうえで、再検討することを求める。

予算の執行にあたり、町民の意見を十分に反映し、適正かつ効果的な事業運営を求めるために下記の附帯決議を提出した

1. タウンミーティングの開催について

町長は豊山スカイプールの存続に関する意見聴取を行うと表明しているが、開催予定回数は3回のみであり、十分な意見聴取が困難である。限られた範囲の意見のみを基に重要な決定がなされる可能性が高いため、追加の意見収集方法を検討し、その結果を議会に共有することを求める。

2. アンケート調査の実施について

豊山スカイプールの存続に関するアンケートは、調査概要が未確定のため、調査方法や内容を早急に決定することを求める。

3. 新年同窓会・ふるさと応援クーポンの発行について

二十歳の集いの参加者へ発行される3000円のクーポンは、使用期間が令和8年1月4日から1月31日までの約1カ月間に限定されている。多様な業種、使用期間の延長を検討することで、より多くの方が恩恵を受け、地域経済全体への効果が期待できるよう改善を求める。



一般質問
ラインナップ

あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

3月10日(月)9人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	坂田 芳 郎	●町民体育大会について	P. 9
2	熊 沢 直 紀	●豊山町臨空第2公園基本計画について ●スカイプールについて	P.10
3	岡 島 政 信	●愛知県基幹的広域防災拠点・豊山町臨空第2公園の今後について ○今後の財政運営について ●戦後80年の節目への取組みについて	P.11
4	岩 下 竜 也	○町長の言動と行動について ●町長の公約に対するお考えは	P.12
5	岩村みゆき	●生涯にわたる女性の健康づくりへの啓発を ●中学校の建て替えについて	P.13
6	大 口 司 郎	●小中学校等の改修整備計画について	P.14
7	岡 島 剛	○消防庁舎の老朽化と耐震性の課題について ●水道事業の老朽管更新事業の現状と今後の計画について ●特別養護老人ホームについて	P.15
8	作 野 桂 子	●歳入歳出戦略は ●子どもの声が届くまちへ	P.16
9	水 野 晃	●部活動の地域移行について	P.17

一般質問は、各議員本人が作成しており、個々の表現を尊重して掲載しています。
全文記録（議事録）は、6月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



さ か た よ し お
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 町民体育大会について

A. 負担軽減と活性化の両立

見出しの件に付き、指摘を受けお尋ねする。

昨年10月6日（日）に開催された町民体育大会は、令和元年度以来、実に5年ぶりの開催となった。コロナ禍や天候

不良で長らく中断されていたが、当日は天候にも恵まれ、多くの皆様が参加し、大変盛り上がった。玉入れや綱引き、○×クイズといった競技が行われ、町議会も「チーム議会」を結成して参加した。私は体調の都合で応援に回ったが、多くの参加者の笑顔が印象的であった。この大会は町民の一体感を醸成（じょうせい）する重要な行事であり、地域のつながりを深める契機でもある。

一方で、今年度はこれまでの地区対抗競技から団体対抗競技へと形式が変更され、様々なお考えが寄せられている。この中で尋ねる。

従来は町民体育大会は地区対抗競技が主であり、各地区がテントを張り、それぞれの応援を行いながら地域の結束

を深める場となっていた。然し乍ら、今年度は団体対抗競技に変更された。この変更に至った理由は何か。

A 教育委員会事務局長
町民体育大会は、町民にスポーツの楽しさを伝えるとともに、体力増進や健康づくりを目的とした一大イベントです。また、地域のつながりを深め、町民の一体感を醸成する役割を担っています。しかし、過去の議会でも質問がありましたが、一部の地区では選手の確保やテント設営などが地区委員の負担となり、継続が難しいというご意見をいただきました。この課題に対応するため、町民体育大会実行委員会と教育委員会事務局で協議を重ねた結果、地区委員の負担を軽減する目的で団体対抗競技に形式を変更し、テント設営は業者委託としました。

来年度以降も団体対抗競技の形式を続ける予定なのか。また、地区対抗競技への回帰は検討されていないのか。

A 教育委員会事務局長
今年度は団体対抗競技とオープン参加競技への移行により、地区委員への協力依頼が不要となり、負担を軽減することができました。加えて、町内で活動する多くの団体に参加していただいたことで地域の枠を超えた交流が進み、地域コミュニティの活性化を図ることができたと考えています。

参加団体には、スカイウィングスアリーディングクラブ、スポーツ少年団など、多様な町民活動団体に加え、ご近所同士がチームを作って参加した団体もあり、子どもたちも多く参加するなど幅広い世代が一緒になって競技を楽しむ姿が見られました。

来年度以降も今年度と同様の形式を基本とし、さらに発展させていきたいと考えています。具体的には、より多くの団体や個人が参加しやすい競技構成や、幅広い年代が楽しめるプログラムの充実を図ります。地区対抗競技への回帰については、地区委員の負担軽減や参加率向上の

観点から今のところ検討しておりません。

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。



町民体育大会が開催される豊山グランド

Q. 無駄な大型避難所にならないか

A. 計画通り進める方針



くまざわ なおき

熊沢直紀 議員

KUMAZAWA Naoki

3月定例会

議案 PICKUP

一般質問

委員会報告

豊山町臨空第2公園基本計画について、青山地区に700人規模の避難所を造る計算が間違っている。以前は避難者数1人当たりに2平方メートルの面積が必要であったが、現在は3.5平方メートルとされている。青山地区の不足分の避難者数は417人である。現状の計画案で計算すると、840人規模になる。

◎ 過去19年の大雨災害の避難者数実績では、豊場地区では合計で3人、青山地区では27人と少なく、大雨被害の避難者数は極めて少ない。なおかつ、大雨被害の避難対策も十分に考慮されている。

南海トラフ地震に関しては、豊山町地域防災計画の被害想定として、南海トラフ地震発生時後の避難者数の想定が1日後の避難者数は50人、1週間後の避難者数は1300人とされている。按分すると、青山地区は250人となり、熊本地震を参考にすると、

車中泊が127人と想定され、北館さんかの想定避難者数175人で十分間に合う。このままでは、無駄ではないかと思われる大型避難所施設を造ってしまうことになり、高額な建設費や維持費による町財政への圧迫が懸念されるため再考を問う。

産業建設部長

◎ さまざまな説明や決定経緯を経て進めてきたので、このまま事業を進めていく。施設整備の発注にあたっては、建設費の高騰や人手不足、埋蔵文化財発掘調査結果、町の財政状況などを見極めながら進めていく。町財政負担の軽減に向けさらに検討を進めていく。

◎ 賑わい施設の進捗状況は。

産業建設部長

◎ 民間事業者を公募により選定するパークPFI制度の活用を検討している。

Q. スカイプール開場の見通しは

A. 令和7年度の再開は難しい

◎ スカイプールについて12月議会で町長は「スカイプールは今後、再開を含めた方向性を慎重に検討していく。施設の安全性確保や運営財源の確保が課題であり、改修費用や利用料金の見直し、駐車場確保策などを含む具体的な計画を進めていく。町外利用者の料金設定を含む持続可能な運営手法の模索も進めていく。」と答弁された。

入場料の値上げ改正（条例改正）、指定管理者の決定など諸問題があるが、どのように解決していくのか、令和7年度にスカイプールは開場できるのか伺う。

町長

◎ 令和7年度の営業再開は難しい。タウンミーティングを開催し、住民の皆さまの意見を伺い、対応策を検討していく。



臨空第2公園の建設予定地



おかじまさのぶ
岡島政信 議員
OKAJIMA Masanobu

Q. 交通結節点の整備計画は

A. 公共交通機関確保を働きかける

臨空第2公園の整備に伴う「交通結節点」は、豊山町と周辺自治体にとって、非常に大切な場所となる。現段階における整備計画は。

臨空第2公園基本計画で「交通結節点」を整備するとしている。これは、地域コミュニティの活性化を図るため、公園を訪れる方の回遊性を向上し、賑わい施設を中心とした地域の商業活動の活性化を目的としている。新しい地域公共交通計画に基づき、令和7年度バス事業者などへ積極的に働きかけを実施する。

A 産業建設部長

臨空第2公園基本計画で「交通結節点」を整備するとしている。これは、地域コミュニティの活性化を図るため、公園を訪れる方の回遊性を向上し、賑わい施設を中心とした地域の商業活動の活性化を目的としている。新しい地域公共交通計画に基づき、令和7年度バス事業者などへ積極的に働きかけを実施する。

臨空第2公園は、地域の魅力を発信するため、イベントが開催できる広場を設置する。

公園へ人を集めるには、名古屋市営交通の結節点への乗り入れが最大のポイントであるが、町の展望は。

A 産業建設部長

現在、名古屋市交通局へ公園への乗り入れの申し入れは行っていない。消防学校を名古屋市と共同で設置する愛知県防災安全局に対し、公共交通機関を確保するよう、働きかけを行っている。

施設の利用度と結節点の関係は大きな意味を持つ。多くの人が集まる場になると、飲食は賑わい施設だけでは、足りないのではないかとと思う。消防学校の食堂利用はできないか。

施設の利用度と結節点の関係は大きな意味を持つ。多くの人が集まる場になると、飲食は賑わい施設だけでは、足りないのではないかとと思う。消防学校の食堂利用はできないか。

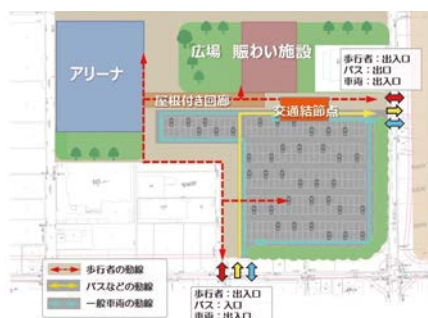
臨空第2公園は、地域の魅力を発信するため、イベントが開催できる広場を設置する。

臨空第2公園は、地域の魅力を発信するため、イベントが開催できる広場を設置する。

A 産業建設部長

臨空第2公園は、地域の魅力を発信するため、イベントが開催できる広場を設置する。

臨空第2公園は、地域の魅力を発信するため、イベントが開催できる広場を設置する。



臨空第2公園の計画図

Q. 戦後80年節目の取り組みは

A. 戦争体験記録映像を上映

令和7年は、太平洋戦争終結から80年を迎える。戦争体験を次世代にどのように伝えていくかが、今後の平和教育の大きな課題である。若い世代へ具体的に戦争の実話を伝承し、平和への意識を風化させない施策が必要である。

A 教育委員会事務局長

戦争の記憶を次世代に伝える貴重な資料として、戦争体験記録映像の制作を計画した。具体的には、町出身の戦争体験者へインタビューを基にした10分から20分程度の映像と、当時の写真や資料を活用した5分程度のダイジェスト版を製作し、8月に上映予定である。

映像を通じ、平和の重要性を深く理解する契機としたい。

平和教育の観点から、若い世代に戦争の記憶を伝えるための取り組みとして、

A 教育委員会事務局長

幅広い世代へ平和の尊さを考える場を提供するため、平和パネル展や戦争体験記録の映像上映を予定している。

平和教育の観点から、若い世代に戦争の記憶を伝えるための取り組みとして、

平和教育の観点から、若い世代に戦争の記憶を伝えるための取り組みとして、



戦争体験を聞く会

Q. 着任以降の4カ月は

A. 直接お話するよう努めた



いわした たつ や
岩下 竜也 議員

IWASHITA Tatsuya

3月定例会

議案 PICKUP

一般質問

委員会報告

服部町長着任以降の4カ月に
対し町政運営や町長の言動
に疑問が呈されている。

町長は「このままでは豊山
はダメになってしまふ」と訴
え、改革に取り組む姿勢を示
され、町の再生に向けて立ち
上がったと認識している。一
方で、町民の皆さまのお声に
は「何がダメ」で、町長が「何
を再生」しているのかよく分
からないとの声もある。

町長着任後、初めて作られ
た令和7年度予算が上程され
た。この予算には、町長が公
約に掲げた「スカイプールの
再開」などの事業予算は、あ
げられなかった。町長は、学
校の建て替えは12年間休止、
逆にスカイプールは存続を表
明しているが「少子化が加速
している」という大きな変化
が起きている現状に鑑みれ
ば、私は、スカイプールでは
なく、子どもたちの教育環境
「学校」のあり方こそ、最優先
で検討していくべき課題だと
考える。

また、町長の言動は、4カ

月も経っているのに少しス
タートが遅く感じる。スカイ
プールをどうしていくのか。
4年間の任期中にすら実現は
難しいのではないか。今後、

町民の皆さまのお声を聞いて
再開を検討することのここだ
が、再開する、しないを判断
するのは、町民ではなく、リー
ダーである「町長ご自身」だ
と思う。学校の改修・建て替
えは、以前の町長時代から、
ご自身がその方針で進めて来
られた経緯もあり、町長自ら
の方針を変えるのであれば、
まずは、議会や町民の皆さま
にしっかりとその理由を説明
し、理解を得て進めていくべ
きではないか。

また、令和7年度予算には、
町長が掲げている「スカイ
プール再開」以外にも、公約
がほとんど盛り込まれてな
い。私は、町民の皆さまに「や
る」と約束されたことは、ひ
たすら実現に向けスピード感
をもって行動に移していくの
が、首長として「あるべき姿」
だと思ふ。そして、予算がな

くても、お金をかけなくても、
仕事のやり方や職員の意識を
変えることはできると考えて
いる。私は「豊山を良くした
い」との思いから質問をする。

町長着任以降の4カ月の
間「とよま再生」のた
め、どのような取り組みを進
めたのか。

町長
さまざまな課題の解決に
向け、職員が日々奔走してい
る話を聞くうちに、改めて身
の引き締まる思いである。こ
うした厳しい状況が続くな
か、長期的な財政見通しをす
べての職員が認識し、常にコ
スト意識を持つだけでなく、
より積極的な財源確保の推進
に取り組んだ。

町長
令和7年度予算にスカイ
プール再開の予算がない
のはなぜか。

町長
令和7年度当初予算の査
定時に、8年度中の再開に向
け準備を進めるよう指示した。

町長着任以降の4カ月の
間、町民の声を聞くため
に、どのような取り組みを進
めたのか。

町長
できる限り町民の皆さま
と直接お話するよう努めた。

町長
中学校建て替えを12年休
止し、スカイプール存続
を優先しようとするその理由
を伺う。

町長
財政的に厳しいものがある。
今後を見据えて計画を進
める。

(2) 学習環境の整備・充実

現 状・課 題	◆小中学校は築年数が60年以上経過した校舎もあり、老朽化対策や多様な児童生徒へ配慮したバリアフリー設備が必要です。 ◆児童生徒がのびのびと学習ができる環境の整備が求められています。
施策の展開方向	①老朽化している学校施設について、計画的に維持管理・更新を進めます。 ②児童生徒がより安全で快適に学べる学習環境を確保します。
主 な 事 業	学校施設整備事業 / 教員の働き方改革の推進事業

服部町長が新たに策定した
総合計画後期基本計画



い わ む ら
岩村みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

Q. 女性の健康を守る啓発を

A. ライフステージに応じ 取り組む

女性は人生の各段階で生理や不妊、更年期障害など、さまざまな健康問題に直面する。

近年、心身だけでなく、社会的な側面も含めて満たされた状態「ウェルビーイング」が重視されている。女性が身体、心、社会的に健康になる「女性のウェルビーイング」を目指すことが重要と考える。

◎ 3月1日から8日の「女性の健康週間」において、豊山町の取り組みを聞く。

A 生活福祉部長
HP、SNS、電光掲示板などを活用し「女性の健康週間」についての周知を行っている。また、令和6年度の新たな取り組みとして、期間中に保健センターへお越しただいた方々に「女性のための健康ガイド」や「乳がんのセルフチェック」のリーフレットを配布した。

◎ 不妊や更年期の症状などについて、女性の健康セミナーを開催してはどうか。

A 生活福祉部長
本町では、女性の健康に対する知識を深め、日々の生活に役立てていただくため、平成26年度から「女性の健康講座」を開催している。ご提案いただいたテーマは、今後の講座の充実に向けた貴重な意見として受け止め、内容の充実と工夫を重ねていく。

◎ 働く女性が増加している今、社会全体で理解やサポートする環境づくりが必要と考える。女性の生涯にわたる健康についての啓発をもっと行っているだろうか。

A 生活福祉部長
本町では、女性の健康に関する講座の開催や専門職員による相談対応のほか「第3次とよま健康づくり21計画」において、新たに女性の健康の視点を盛り込み、ライフステージに応じた健康づくりに取り組んでいく方針である。広報誌や講座、各種イベントなど、さまざまな機会で啓発活動に努めてまいりたい。

Q. 中学校の建て替えを

A. 学校改築計画の見直しが必要

◎ 町長は中学校の建て替えを見直す旨の発言をされたが、一番最初に建て替えを行わなければならないのは、豊山中学校である。そのため、改修などは税金の無駄遣いである。中学校は、一つしかない、替えの利かない大事な義務教育の場所である。一刻も早く建て替えを行い、教育環境を整えるべきと考える。そこで、豊山町公共施設等管理計画において、大規模改修、建て替えの考え方の前提を決めたが、その根拠は何なのか。

A 総務部長
建て替えの目安としている60年については、本町の多くの公共施設が平成11年度以前に建設されていることから、財務省が示す当時の鉄筋コンクリート造の法定耐用年数を目標準用年数として設定し

た。また、大規模改修の目安は、目標耐用年数の中間期となる30年に機能回復を行う時期と設定している。

◎ 中学校の建て替えは、どの程度の見直しなのか。計画の見直しも含め、考えを聞く。

A 町長
中学校については、随時、必要な修繕を行いながら、築80年を目安に運用していく方針である。子どもたちにとってより良い学びの場を提供するために、施設整備は、計画的かつ段階的に進めていくことが重要である。そのため、令和7年度以降に行う公共施設等総合管理計画の見直しに合わせ、学校施設改築・長寿命化計画の見直しも必要と考えている。

Q. 老朽化した施設の展望は

A. 計画的な対策に邁進



おおぐち しろう

大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

3月定例会

議案 PICKUP

一般質問

委員会報告

Q 豊山中学校の体育館空調工事について、令和5年度の実施設計と現在の計画を説明願いたい。また、豊山中学校のトイレ改修工事と学校の生活環境についてどのようなことを考えているのか。

A 教育委員会事務局長
令和5年度は、避難所機能を考慮してLPガスを熱源として計画した。

しかし、能登半島地震や物価高騰の状況を踏まえて都市ガスへ変更することとした。

中学校のトイレ改修工事は「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」の見直しに合わせて検討予定。できる限り速やかに実施できるよう努める。

A 町長
教育は未来を担う子どもたちにとって不可欠である。

子どもたちが安心して学べる環境を提供することは、私たち大人の責任であり、そのためにも全力を尽くしていく。引き続き、学校の生活環境、教育環境の改善に向けて努力していく。

Q 志水小学校のトイレ改修工事は、材料や人件費が暴騰していると聞いている中、適正な予算を計画しているのか。

A 教育委員会事務局長
工事材料や人件費の高騰に関しては、十分に認識しており、設計金額の見直しに関しては、適正に計画している。

Q 小中学校の老朽化問題とトイレ改修工事や体育館の空調工事は性格が少し異なる。屋上の防水工事や外壁改修工事の改修計画について、町長の考えは。

A 町長
老朽化問題は非常に重要な課題である。学校全体の機能を維持し、安全性を高めるため「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」の見直しの中で全体の屋上防水や外壁改修の実施時期についても検討していく。

Q 保育園について、小中学校と同様に老朽化が進ん

でいると考えるが、現状の把握は。また、解決について町長の考えや計画を具体的に示してほしい。

A 生活福祉部長
いずれの施設も、床の摩耗や外壁のクラックなど、経年劣化が顕著である。冷暖房機器の故障なども年々表面化している。

令和2年3月に策定した「豊山町福祉施設改築・長寿命化計画」に基づいた部位修繕が遅れている状況である。

今後の少子化の進行や入園児数の推移を見極めつつ、将来にわたり安定した保育環境を維持するための最適な方法を検討していく。

Q 中学校の改築、その後の豊山小学校のあり方、新栄小学校のあり方、老朽化した町有施設について町長の考え方や将来的な展望、構想を説明願いたい。

A 町長
小学校や保育園の統廃合を含めたあり方の検討や、そ

他の施設においても老朽化対策が必要である。中長期的な財政の見通しや現在の計画に基づく改修の進捗状況の確認を行い、令和8年度に策定する新しい計画に盛り込むよう指示した。優先して実施すべき老朽化対策を決定のうえ、中学校を含めた計画的な対策に邁進していく。



おかじま つよし
岡島 剛 議員
OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 効率的な取り組みを

A. 一本化に向けた動向も注視

Q 北名古屋水道企業団における老朽管更新事業の現状と、今後の更新計画について、町としてどのように把握しているのか。

A 生活福祉部長

北名古屋水道企業団では、管路再整備計画に基づき、配水場の統合に合わせて、基幹管路の整備や重要給水施設に繋がる配水管の耐震化を優先的に進めることとしている。これにより、耐震性の向上を図るとともに、老朽化した配水管の更新も同時に進めることで、水道の安全性と安定供給の確保に努めていくと聞いている。

Q 更新事業に必要な財源確保策について、起債や国・県からの補助金の活用、また、民間事業者との協働や広域連携を視野に入れた効率的な取り組みが必要と考える。企業団管理者として町長の認識は。

A 町長
愛知県では、矢作川流域



安定した供給を

を中心とする西三河地域において、県と市町村などが連携し、上下水道事業の一本化に向けた取り組みを進める旨の報道があった。

県と市町村が連携することで、スケールメリットを活かした施設の維持管理費用の削減や人材確保が可能となる。民間事業者との共同はさまざまな効果が期待できるものと考えている。

北名古屋水道企業団の管理者として、広域連携や業務の効率化の重要性を強く認識している。今後も町民の皆さまに安全で安定した水道サービスを継続的に提供することを最優先に考え、県が進める上下水道事業の一本化に向けた取り組みの動向も注視しながら、適宜適切に対応していく。

Q. 特養の設置、町長の認識は

A. 新たに整備することは難しい

Q 本町内に特養がないことについて、町はどのように認識しているのか。

A 生活福祉部長

本町に特養が未設置であることで、住民の皆さまにとってご不便をおかけしている点があることを認識している。特養の整備に関し、入所待機者の存在や高齢化の進展に伴う在宅介護の限界、限られた人的資源の中での入所施設の必要性など、さまざまな課題を認識してきた。本町としても特養の整備を重要な課題と位置づけてきた。

の最優先課題の一つとすべきと考えるが、町長の認識は。

A 町長

特養の整備には、清須市や北名古屋市との連携や協力が不可欠である。特に、施設整備に向けた財源の確保、適切な建設地の選定、介護人材の確保といった問題に直面している。また、国の政策は、施設介護から地域での生活支援へと移行している。

現時点では多くの課題があり、新たな特養を整備することは難しいと考えている。



豊山町にも特養を



さく の けい こ
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

Q. 授業参加の制限は適切か

A. 適切であるとは限らない

令和6年12月議会で「子どもの権利や参加の仕組みなどを具現化するため、子ども条例の制定が必要」との答弁があった。しかし、残念ながら豊山町子ども計画には具体的な意見表明の機会について明記されていない。実際の学校現場やまちづくりの中で、子どもたちの意見がしっかりと反映されるよう環境を整えていく必要があると考える。

◎「休み時間」に宿題のやり直しや再テストを課されることがあり、朝から帰りまで、自由時間がほとんどなかったとの声がある。改善に向けて検討をしてはどうか。

A 教育参事

長時間にわたる授業の合間の休息は大切であり、心身の健康や、学習意欲を維持するためにも「休み時間」の確保は必要であると考ええる。

一方で、欠席して授業内容を学習していない場合や学習内容が定着できていない場合には、子どもができる範囲内

で個別支援を行うことも大切である。子どもの「休み時間」も確保しながら、無理のないよう進めていきたい。

◎必要な物を忘れた場合などに体育の授業参加が制限されている。この指導は適切か。学習権を保障するため、制限した回数を把握し、保護者に報告をするなど、新たな取り組みが必要ではないか。

A 教育参事

授業への参加を制限することは、適切であるとは限らない。個々の状況を考慮し、教育的配慮のもと柔軟に対応することが大切である。子どもに対して適切な指導を行い、必要に応じて保護者との連携を図り忘れ物の防止に努める。



Q. 経営改善策を策定しては

A. 場合によっては、着手する

財政調整基金の残高は、令和4年度が約19億円、令和5年度が約16億円、令和6年度が約14億円、令和7年度は約8億円と、基金への依存度が高まっている。

服部町長が主張されている通り、人口減少や高齢化が進む中、限られた財源を効果的に活用し、優先順位をつけることは不可欠であり、歳入歳出戦略をしっかりと立てる必要があると考え、質問する。

◎町長は「このままではとよやまがダメになってしまつ」とよやま再生、未来への責任」と発言している。その危機感を踏まえ、具体的な抜本的な経営改善策を策定すべきではないか。町長の考えはどうか。



A 町長

現行の財政運営を行えば、各種事業を予定どおり実施できない事態を招くおそれがある。施設の老朽化対策などの投資事業については優先順位を見極め、財政負担の平準化を図りながら、限られた財源を配分する必要がある。

ご指摘のとおり、現在の財政状況に鑑みれば、場合によっては期間を限定した、財政健全化に向けた具体的な取り組みを行うための計画の策定にも着手することを視野に入れないながら、財政運営に臨むべきであると認識している。



みずの あきら
水野 晃 議員

MIZUNO Akira

Q. 部活動の地域移行は

A. 慎重に決定する

近年、文部科学省の方針を受けて、学校の部活動を地域に移行する取り組みが全国的に進められている。本町でも令和6年3月に生涯学習推進審議会で「部活動の地域移行」に関する「中間まとめ」が示された。「中間まとめ」を踏まえ、子どもたちの健全な成長を支える環境整備、教員の働き方改革、地域との連携をどのように進めていくのか、現状と課題について質問する。

Q 「中間まとめ」が提出されたが、町としてその内容をどのように分析・評価しているのか。また、審議会は何回開催され、どのような議論がされたのか。

A 教育委員会事務局長
「中間まとめ」では、本町の部活動の地域移行について、まずは休日の部活動から段階的に地域移行・地域連携を進めることが示された。審議会は、令和4年8月から中間まとめが提出された令和6年3月までに5回開催された。

議論の中では、地域団体との連携や既存の部活動をどのように地域に移行するかについて意見が交わされ、地域移行だけでなく、地域連携を併用する柔軟な対応が必要であるとの指摘があった。また、教師と地域が連携して活動環境を維持することや、平日と休日の活動が途切れない仕組みの重要性についても議論された。また、子どもたちの活動場所の確保や指導者の雇用、予算の課題についても具体的な課題として挙げられた。

Q 部活動の地域移行を議論する中で「地域移行」と「地域連携」という2つのアプローチが示されている。「中間まとめ」では、部活動の地域移行は、まず休日から段階的に進めるとされている。本町としては、この2つのアプローチのどちらを中心に進めるのか。

A 教育委員会事務局長
本町では「地域移行」と「地域連携」のどちらか一方に

限定せず、地域や学校の実情に応じて両方のアプローチを組み合わせて進める方針である。今後も地域や学校、関係団体の皆さまと意見交換を重ねながら、本町に最も適した柔軟な体制を構築していく。

Q 「中間まとめ」では、部活動の地域移行を進める場合は、本町の資源である総合型地域スポーツ・文化クラブなどを活用することが提言された。このため、実証実験として「わくわくクラブ」の一部を中学生に拡大したが、中学生の参加が一人もいなかったと聞いている。これは、部活動の地域移行が進んでいないことが影響していると考えられる。これらを踏まえ、最終的に地域移行の時期はいつか、教育委員会の明確な考えを聞く。

A 教育委員会事務局長
部活動の地域移行は、今後は学校現場での具体的な課題やニーズの把握が重要であると考えている。

令和7年度からは、教育委員会を中心に中学校の校長、小学校の教頭で構成する「部活動地域移行プロジェクトチーム」を設置し、学校現場の実情に即した課題分析と改善策の研究を進める。チームでの検討結果を基に、生涯学習推進審議会で最終答申を取りまとめ、教育委員会として具体的な移行時期や方法を慎重に決定していく。



スポーツ庁 HP より

委員会報告

福祉建設委員会報告



なぎチャイルドホーム

安心して子育てできる環境整備を

令和7年2月4日

岡山県勝田郡奈義町視察

岡山県奈義町は、2002年に合併を選ばず、少子化対策として「精神的支援」「経済的支援」「地域ぐるみの子育て支援」の3本柱を推進しています。2012年に「子育て応援宣言」を行い、妊娠・出産期のメンタルケアに重点を置き、心理士による相談や地域ボランティアによる新生児訪問を実施しています。これにより、親の孤立感の軽減に努めています。

視察した「なぎチャイルドホーム」では、就学前の子育て支援、小学生の居場所、不登校児支援、地域交流の場として多機能的に運営されています。また、在宅育児世帯には月額15000円の支給があり、経済的支援も充実しています。

これらの施策により、奈義町では2019年に合計特殊出生率2.95(全国平均1.36)を記録し、多子世帯が半数以上を占める成果を上げています。これは、安心して子育てできる環境整備の結果といえます。

豊山町でも、心理士や助産師による相談体制、新生児家庭訪問支援の強化、児童館の機能強化、地域ぐるみの子育て支援の推進が重要だと考えます。

要望書の提出

令和7年3月18日

豊山町と名古屋市が共同管理する久田良木川排水機場で、設計誤りによる不具合が発生し、修補工事を実施することとなりました。このため、工期が延長され、稼働が令和12年度末に遅れることとなりました。委員会での議論に基づき、設計業務における照査報告義務化や確認体制強化、住民への情報提供の2項目を要望。

令和7年3月18日

奈義町視察後の議員間討議に基づき、精神的なサポートの強化など3項目を要望。



総務文教委員会報告

住民に喜ばれる防災拠点を

令和7年2月5日 兵庫県立広域防災センター視察

兵庫県三木市にある県立三木総合防災公園は、敷地面積200haを超える広大な敷地に、陸上競技場や室内テニスコート、野球場、グラウンド・ゴルフ場などが整備され、平常時はスポーツ施設として使用され、災害時には、自衛隊などの野営施設や援助物資の集積場として使用されます。陸上競技場の観客席の下は非常用物資の備蓄倉庫となっています。

公共交通が整備されていないことや飲食店がないなど、この施設での問題点を、豊山町に整備される広域防災拠点に対し、今後どのように反映させていくか、課題の共有ができました。



陸上競技場と備蓄倉庫

要望書の提出

令和7年2月7日

旧給食センターの現状把握や利用方法に関する現地調査結果に基づき、利活用方法や備品の有効活用、駐車場の貸し出しのガイドラインの作成について3項目を要望。

令和7年2月28日

志水小学校のトイレ改修工事の今後の対応について、所管事項調査の結果に基づき、積算根拠の提示や作業手順の明示、運動場の迅速な解放など5項目を要望。



基幹的広域防災拠点等特別委員会報告

令和7年3月28日

大山川洪水調節池と愛知県基幹的広域防災拠点の雨水調整池の現地調査を行いました。



大山川洪水調節池

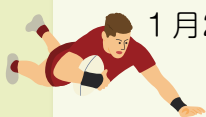


雨水調整池

輝く人を紹介 町のキラッと

インタビュー 令和7年1月20日

ラグビー全国大会出場 阿部 陽人さん



1月25日、26日に横浜市の日産スタジアムでのラグビー全国大会「第17回大樹生命ヒーローズカップ」に出場されました。



Q 始めたきっかけは。

A ラグビーワールドカップ代表の活躍を見てやってみたいと思い、小学1年生の冬に始めました。



Q ラグビーの面白いところ、良かったところは。

A 自分がうまく繋いで、仲間がトライ出来た時や強豪チームに勝てた時はとても嬉しいです。



Q 豊山町で改善して欲しいことは。

A 子ども議会でも質問したけれど、豊山町にはボールが使えるグラウンドが少ないので、使えるようにして欲しいです。



編集後記

このたび、議会広報編集委員としての2年間の任期を終えます。議会だよりを通じて、皆さまに分かりやすく情報をお届けすることを心がけてまいりました。

今回、一般質問の表現方法についてご意見をいただきましたが、議会だよりの一般質問ページは各議員が自ら内容をまとめる形式をとっています。編集委員会では個々の表現を尊重した編集を行っておりますので、ご理解いただければ幸いです。

今後も、議会の情報がより多くの方に伝わるよう工夫し、分かりやすさを追求してまいります。議会広報の今後の変化にもぜひ、ご期待ください。

作野 桂子

表紙のコメント

3月19日、町内3小学校で卒業式が行われました。式典後、志水小学校の体育館前で卒業生が先生に感謝の気持ちを伝えていました。ご卒業おめでとうございます。

広報編集委員

委員長 岩村みゆき
副委員長 作野 桂子
委員 岡島 政信
岡島 剛
岩下 竜也

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れすることを禁止されています。有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

次回定例会の予定

6月 2日(月) 開会・議案説明
9日(月) 一般質問
10日(火) 議案質疑
11日(水) 福祉建設委員会
総務文教委員会
12日(木) 予算決算特別委員会
16日(月) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から) 議事の都合により、日程が変更になる場合があります。